課題解決型高度医療人材養成プログラム
選定事業の概要と推進委員会からの主なコメント

［取組２］看護師・薬剤師等のメディカルスタッフを対象とした人材養成
（３）チーム医療に貢献でき、高い指導能力を持ったメディカルスタッフの養成
②生体機能診断支援領域（診療放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士）

整理番号	２５

申請担当大学名（連携大学名）	九州大学
事業名	実践能力強化型チーム医療加速プログラム
事業責任者	医学部保健学科長　教授　大喜　雅文

事業の概要

チーム医療を推進するために、大学教員と臨地教授ら実習指導者が参画する実践能力強化型チーム医療教育連絡会議を新設し、学部教育、医療人技術向上教育、実習指導者教育のプログラムを策定し実施する。【学部教育】では、学科内３専攻の相互教育と医療系統合教育研究センターによる３学部６学科の合同教育で職種間の相互理解を深め、医療従事者による実習前講義で臨地実習のさらなる充実を図る。高度化する医療と業務拡大へ対応するための科目やシミュレーション実習を設け、大学教員・医師・実習指導者が連携して実践型教育に当たる。【病院等で働く医療従事者】を対象として、医療安全管理や危険予知などを含めた卒後研修、及び高い指導能力をもつ実習指導者を養成し認定する臨地実習指導者研修を実施する。更に、大学と臨床現場との人材交流によりキャリア形成に寄与するとともに、実践力・教育力・研究力をもちチーム医療を推進できる人材を育成する。

推進委員会からの主なコメント　　○：優れた点等、●：充実を要する点等

○診療放射線技師、臨床検査技師の合同教育を行う点で評価できる。
○実施体制の構成員は大学教員のみならず大学病院をはじめとした臨地実習の指導者たちであり、指導者の育成という点でも大いに評価できる。
○九州大学だけではなく多数の団体が参画することで種々の思考が入り、効果が期待できる。
●事業の内容について具体的な取組が明確でなく、また課題に対する事業の主旨や達成目標、評価指標の妥当性についても、より具体化することが望ましい。
●本プログラムの 2 年ごとの外部評価及び毎年度の内部評価委員会による評価指標の具体化を期待したい。
●事業の実施体制について、学長、学部長以上の関与が望ましい。